

[広報]

SAMEGAWA

PUBLIC RELATIONS SAMEGAWA



特集 花見山 未来に紡ぐ 花と木と

行政NAV I

ワクチン接種が始まります
大豆栽培者を募集しています

ほっとニュース

春季火災防衛訓練を実施しました
自衛隊入隊者激励式

春の眺望（館山公園）

SAMEGAWA
APRIL
2021
4

令和3年4月1日発行（毎月1日発行）
第804号（昭和27年9月創刊）

発行／福島県鮎川村 編集／鮎川村役場総務課
〒963-8401 福島県東白川郡鮎川村大字赤坂中野字新宿 39番地 5

むし歯のない子

鏑木 皓太 くん
赤坂中野字伏木田

毎日歯みがきとブクブクベツをがんばっています。〔卓弥・妙子〕

石井 奨 くん
赤坂西野字酒垂

姉と一緒に夜の歯みがきをがんばりました。〔麻里恵〕

芳賀 羽心 ちゃん
西山字水口

仕上げみがきを嫌がらずにがんばりました。〔峻・明日香〕

円谷 武尊 くん
赤坂西野字本坂

毎日おこれながらもしっかり歯みがきがんばってくれています。〔政幸・恵美〕

芳賀 結翔 くん
赤坂東野字滝ノ下

むし歯にならないように歯みがきをがんばりました。〔悦男・真由美〕

小瀧 桐也 くん
赤坂中野字新宿

嫌がられながらも仕上げみがきをがんばりました。これからも続けたいと思います。〔裕也・歩〕

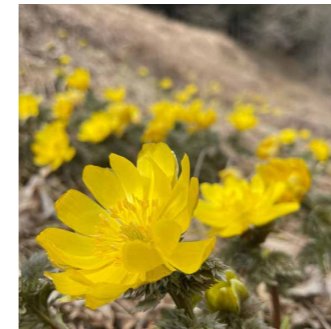
芳賀 凜 ちゃん
渡瀬字江竜田

夜の歯みがきでは仕上げみがきや糸ようじを嫌がらずにがんばりました。〔聖・明香〕

みんな歯みがきがんばってえらいね!!
むし歯のない子は、3歳児健診受診児8人中8人でした。 - 令和3年2月25日実施

My favorite Snapshot in SAMEGAWA
みんなの写×がわ

ハッシュタグ
「#さめがわいいところ」
を付けたインスタグラム投稿写真を紹介します



皆さんの素敵な写真を投稿しよう!!

投稿日 2021年3月12日
投稿者 samegawa_village_kanko

今回は村の公式アカウントの投稿から紹介します。こちらは西山字戸倉の福寿草です。陽の光を受けて金色に輝いていますね。

SNSでも情報配信中
村公式アカウントはコチラ

facebook
 instagram

スマホで読み込むとページに移動します

編集後記

■この度、異動することになりました。4年間で48冊、毎月締め切りに追われながらも今日まで頑張ったのは皆さまの応援の声があったからだと感じております。本当にありがとうございました。（西橋）



館山には複数の登山口があります。今回は公民館駐車場から登山を始め、村農業者トレーニングセンター駐車場側に向かいました。



【特集】
花見山
未来に紡ぐ
花と木と

村の中心部にある館山。平成18年度から始まった公園づくり事業により、四季折々の花木を楽しめるようになりました。山は手をかけてあげることでも美しく生まれ変わることができます。美しい鯉川村を未来につなぐ。可能性は私たちの手の中にあります。

村は平成17年に地域住民参加型の森づくりを目指し館山の土地94,132㎡を総額約3,991万円で購入。平成19年2月、3月にそれぞれ130人を超えるボランティアで歩道にウッドチップを敷き、植栽作業を進めました。以来、毎年ボランティアによる管理活動が行われています。

思い出の桜の木

毎年、村の小中学校では卒業を記念して館山に桜の木を植樹しています。昨年、成人となった矢吹瑞樹さん（真坂）も平成24年、当時鯉川小学校6年生のときに植樹をしました。

植えた桜は現在どうなっているのでしょうか。その姿を確認するため、同級生の笹島匠悟さん（江堀）、舟木太陽さん（石ノ花）と一緒に8年前に植樹した館山を訪れました。

「館山を歩くのは久しぶりで



自立のシンボル「館山」

館山は、かつてこの地域を納める赤坂氏の居城を構え、浜通りと中通りを結ぶ商品流通の中継地として栄えていました。

そんな館山も以前は杉が生い茂り、昼間でもうっそうとした空気が漂っていて、人が寄り付きにくい場所となっていました。

平成16年の行政区懇談会で多くの村民から館山を農村公園として整備する提案を受けると、平成17年に自立する村のシンボル、中心地域活性化策の一つとして景観を整備する「館山公園整備事業」が始まりました。

整備は用地交渉から始まり、



左_たくさんの村民ボランティアの協力で桜やコブシ、カエデなど季節が味わえる木々を植樹しました（平成23年4月）/右_整備後の館山は、ニッコウキスゲ（6月～7月）の群生地としても広く知られるようになりました

杉林の伐採、花木の植樹、園路の整備など長い年月をかけながら取り組んできました。杉林が取り除かれて光が差すようになると、自生していたニッコウキスゲをはじめ、あじさいやヤマユリ、銀蘭などが顔を出し、個性ある花見山として

の可能性が広がっています。たくさんの人の手によって生まれ変わった館山。今では一年中、季節を感じながら楽しめる観光スポットとなりました。村民ボランティアの皆さんによる草刈り作業は、今でも毎年続けて行われています。

すが、昔を思い出させて楽しいです」と笑い合って歩く3人。

一山越えて国道349号が眼下に見える所に差し掛かったと



植樹以来、久しぶりに館山を登る3人



水野さん宅の400株を越えるヤマツツジ。4月の終わりから5月にかけて赤々とした花を一面に咲かせます

赤坂中野字宿ノ入の住宅が並ぶ一角で、鮮やかに咲くヤマツツジの園があります。この山の持ち主は水野春雄さんときよ子さん夫婦。2人は平成16年に埼玉県から春雄さんの実家がある鮫川村に移り住みました。家を建てた当時、目の前には杉林が広がり、日中でも陽の光が当たらないような場所でした。「最初は木が生い茂っていた。誰も入れないような状況だったんです。そこで杉を切ってもらい、少し明るくなると、小さな花が咲いているの見つけました。明るくすればこんな場所でも花は咲くんた、と気づき、以来妻と2人で山に手をかけてあげるようになりました」



冬の間、枝の様子を見ながら山の中を歩く水野春雄さんときよ子さん

ヤマツツジが咲き乱れる山 ひと手間が田舎暮らしを変えた

誰も入れなかった杉林が
花園になった

と春雄さんは話します。当時見つけた小さな花こそがヤマツツジです。それから花を守るように雑草を刈り始めると、花は自然と増えて今では一面を紅く染め上げるほどになりました。「花が咲くと気持ちが大変なところもありますが、花たちが応援してくれるのでここまで頑張れていますね」と言って2人は微笑みます。



小学校6年生当時、植樹する矢吹さん（写真左）

歩き始めた今だからこそ地元の大切さが身に染みるという3人。「一度は村を離れることがあっても、みんなが安心してまた帰れるように村のきれいな自然や景色を大事にしたいです」と矢吹さんは笑顔で答えます。館山の桜は子どもたちが村で育った証。いつまでも輝きを放ち大きく育つでしょう。



1_ 桜に触れる矢吹さん。思い出がよみがえります/2_ 大きく育った木に感動する笹島さんと舟木さん/3_ 桜は3人の成長をこれからも見守り続けます

インタビュー INTERVIEW



矢吹 瑞樹さん
赤坂中野字真坂

館山に登りながら小学生の頃の思い出話ができて楽しかったです。館山からの景色などもきれいで、私は本当に良い場所で育ったんだなと実感しました。



舟木 太陽さん
赤坂西野字石ノ花

館山に登ってみて、改めて地元の良さを感じることができ、ここで育ったんだという誇りが持てました。いつか同級生を集めてお花見とかもしてみたいです。



笹島 匠悟さん
青生野字江堀

館山では今回初めて通った道もあり、ずっと鮫川にいたけどまだ知らないこともあるのだという気づきになりました。これからも村の良いところを見つけたいです。

増えてます!! マイ花見山計画

退職後などに、自らの手で花見山を整備して楽しむ人が増えています。裏山を放っておくのはもったいない!? 皆さんもオトナの楽しみ方の一つとしていかがですか。



木を切って火打石の桜を一望できる丘を造成。切った木からベンチも作り一服できるスペースに。(佐藤文夫さん・火打石)



シノやぶだった裏山を少しずつ整備し、クマガイソウをはじめさまざまな花木を楽しむ場所にしました。(蛭田一雄さん・関口)



自宅のまわりで整備中のマイ花見山。少しずつ手を加え季節ごとの花が色鮮やかに咲く山にしたい。(鍋木重正さん・馬生田)

宝は村のどこにもある

水野さん宅のヤマツツジが生していたものであるように、以前の鮫川村には美しい花山がたくさんあり、村全体の里山景観を形作っていました。手入れが行き届かなくなり今は荒れてしまっているかもしれませんが、雑木を切り開けば再び花山に戻るはず。シノなどの雑草は冬でも青く葉をつけていてわかりやすいので、他の葉や虫などが少ない今のうちに少しずつ刈り、作業を進めると効果的です。また、手入れの行き届いた山

宝は村のどこにもある



平成16年と比較すると風景が一変したことがわかります。切った杉を材料にして手作りの小屋なども建てました

伸びた分だけを切る

水野さんの山の手入れは主に花が咲くとき、咲いたあと、葉のない冬場の3回行います。もともと山の手入れの知識などなかったため、自分で調べ、試行錯誤しながら取り組んできた



左_葉の少ない冬のうちに1年間で伸びた分だけの枝を切って木の形を整えます/右_木が大きくなれば思い切って切る勇気も必要

うです。「木は一度大きくなってしまうと剪定が大変なので、毎年伸びた分だけを切って管理しています。それでもだんだんと枝は太く大きくなってしまっているので、そのときは強剪定と言って思い切ってばっさり切りますね。植物は強いので、切られた分また力強く枝を伸ばし、よりきれいな花をつけてくれるので楽しみの一つになっています」と話して目を細めます。

はイノシシなどの野生動物が隠れる場所や通り道を減らすこと

にもつながり、作物被害の軽減も期待できます。

花を咲かせる、心に山に――。

美しい里山を守り伝える

村の生活で自然との縁は切っても切れない関係にあります。だからこそ里山の管理は「楽しみながら」「自分のペースで」「少しずつ」取り組むことを提案します。一人ひとりの取り組みは小さくても、それが村全体に広がればいつか村中が観光地

になるかもしれません。若者にも村の自然はとても魅力的に映っています。それは先人たちの山の管理の賜物ではないでしょうか。私たちが引き継いだこのすてきな里山をこれからの子どもたちにも伝えていきたいものですね。あなたの「花見山」、心と山にすてきな花を咲かせましょう。

HOT TOPICS 山の手入れの方法

「その山の緑は生活に必要ですか?」暮らしの緑を考える

暮らしやすい生活のために自然環境を整えることは自然と一体となった生活の第一歩です。樹木は大きくなれば枝折れや倒木などの危険性もあり、安全面からも手入れは重要になってきます。まずはその樹木が生活の中で必要な物かどうか見極めましょう。

里山の景観整備は、大がかりな機械など無くても十分にできます。ポイントは一気にすべてをやろうとするのではなく、毎年少しずつやることと日ごろから自然に目をかけてあげること。時間があるときにちょっとずつでも手をかけてあげれば、樹木の伸びも抑えられますし、結果的にコストを抑制することにもつながります。



(有)花月庭園
関根 巨樹 さん(水口)

花木を剪定するポイントは「日光」と「風」



剪定は木を順調に生育させるために行います。基本は毎年、1年間に伸びた枝を切ってあげることです。また、枝が混みすぎているところは中まで日光が届くように、そして風通しが良くなるように枝を落とします。

①カマ:山の中に入る道を確認するなど、荒刈りするために使う。/②剪定ばさみ:枝葉を切ったり、樹木の形を整えたりする。/③ノコギリ(粗目):木の太い所などを大雑把に切る。/④ノコギリ(細目):竹を切るときに使う。/⑤片刃のナタ:食い込むように切れるので太めの木や切った枝を整理するときに使う。慣れるとノコギリよりも手早く枝を分割できる。

特集 **花見山**
未来に紡ぐ 花と木と
(終わり)

コロナ対策小話

口の中も清潔に



さめがわ歯科医院
小松 正三 歯科医

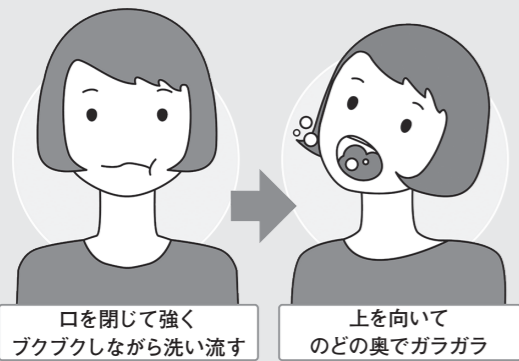
新型コロナウイルスに限らず、ウイルスの感染経路は粘膜が傷です。特に粘膜の中でも「目」「鼻」「口」というのは一番重要な経路で、リスクの高い所になっています。そのため、この3つの粘膜をウイルスから守ることが体の健康を保つ基本になります。

実際、感染対策として口と鼻を保護するためにマスクを着けますよね。手洗いが有効なのも手はこれらの粘膜と接触する機会が多いことに起因しています。手洗いと同様に粘膜についたウイルスも流水で洗い流すことができます。その代表的な方法が「うがい」ですね。うがいは洗いたい部位を意識して行います。特にほっぺの裏や唇の下を洗う「ぶくぶくうがい」とのどの奥を洗う「がらがらうがい」

を使い分けて行いましょう。(下図) また、食生活や歯みがきを見直すなどして、口の中を清潔に保つことも大切です。歯周病などで口の中に炎症が起きているとき、それはつまり菌に体の免疫力が負けている状態なんです。そのような状態でウイルスが入って来たら体は完全に戦うことはできません。日頃のちょっとしたことからウイルスに負けない体づくりを心がけるようにしましょう。

正しいうがい

GARGLE METHOD
WASH YOUR GARGLE



洗う場所を意識してうがいしましょう。のどの奥は舌で塞いでしまいがちなので、「アー」「ハー」など発声しながら行うと良いです。無理せずできる範囲でやってみましょう



ワクチン接種は強制ではありません。正しく理解して接種の判断をしましょう

優先順位は、①新型コロナウイルス感染症患者などに直接医療を提供する医療従事者など、②65歳以上の高齢者、③基礎疾患がある人や高齢者施設などで利用者に直接接する職員、の順で接種をします。接種場所は基本的には住所を持つ市町村内の医療機関で、接種費用は無料です。接種の対象となる人には村から接種券と予診票が送付されます。

副反応にご注意ください 一般的にワクチン接種後は、接種部位の痛み、発熱、頭痛などの「副反応」が生じる可能性があります。治療を要したり、障害が残るほどの副反応は、

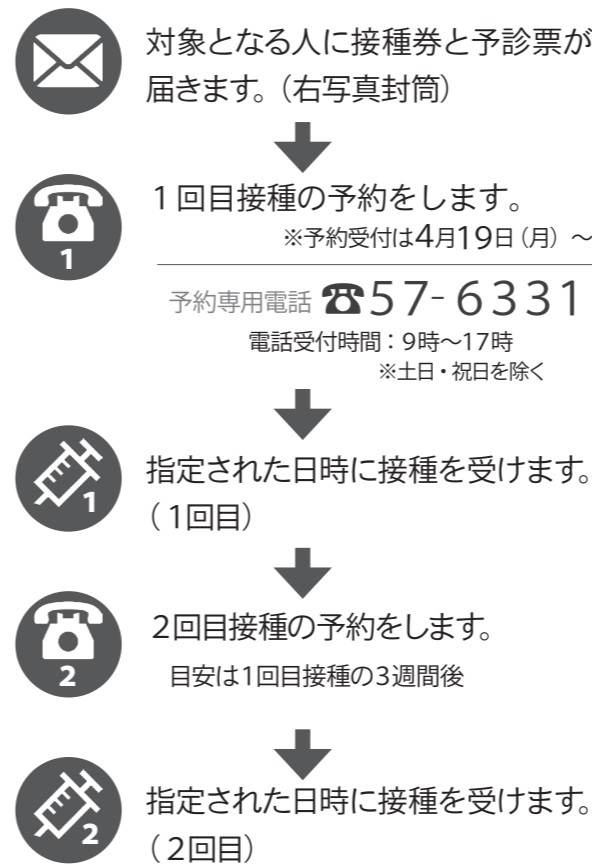
極めて稀ではあるものの、ゼロではありません。ワクチンに含まれる成分に対する急性のアレルギー反応や立ちくらみなどが起こることもあります。接種後は15分以上、会場で座って様子を見てください。接種後に体に異常がある場合は、速やかに医療機関またはかかりつけ医にご相談ください。

☎49-3112

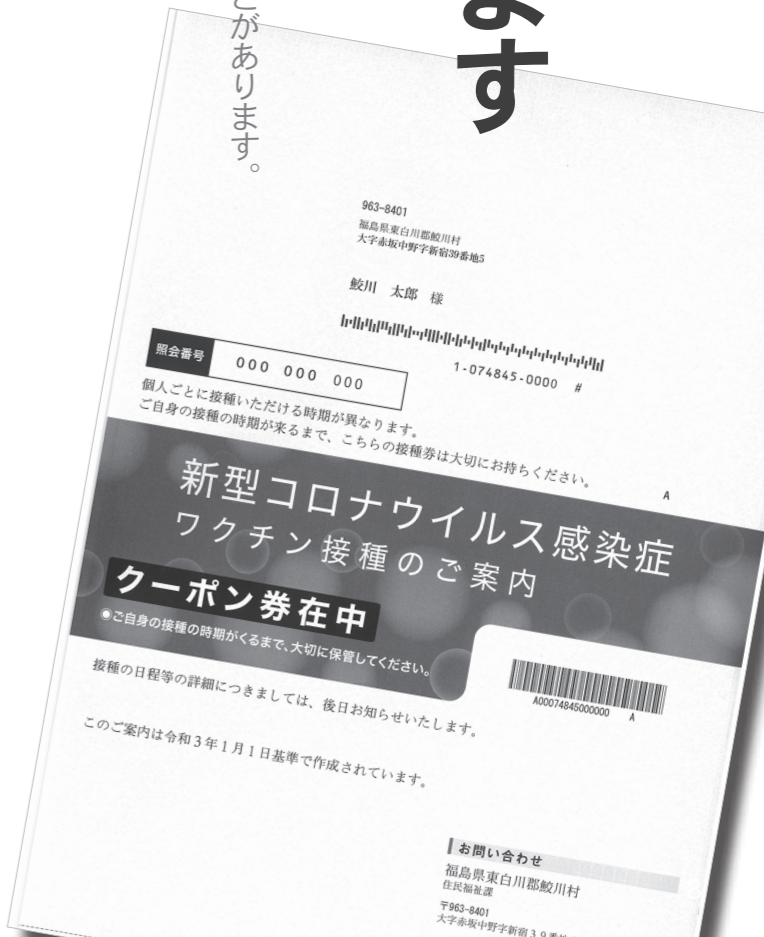
新型コロナウイルスは、まだまだ未知のことがあり、特効薬も開発中の段階です。こうした中で、多くの方にワクチン接種を受けていただくことにより、重症者や死亡者を減らし、医療機関の負担を減らすことが期待されています。新型コロナウイルスは2回の接種によって、95%の有効性で、発熱やせきなどの症状が出ることを防ぐ効果が認められています。(※インフルエンザワクチンとの有効性は約40〜60%)

しかし、すぐに多くの人がワクチン接種を受けられるわけではありません。そのため、接種後もマスクの着用など感染症予防策の継続をお願いします。接種には優先順位があります。現段階ではワクチンの確保できる量に限りがあります。そのため、重症化リスクの高い人から順に接種することで、重症者や死亡者を減らすことを優先し

接種の流れ



3月中旬から先行して医療従事者に対するワクチン接種が開始されました。新型コロナウイルスは2回の接種によって発症を防ぐ効果が認められています。一方で、一部の人には接種した部位の痛みや発熱、頭痛などの副反応が生じることがあります。村でも今後ワクチン接種が始まりますが、接種は強制ではありません。ご自身の健康のことですので、よく考えて接種を判断してください。



関根村長に聞く！ 新年度の予算編成

新型コロナウイルスの感染症予防策や災害からの復旧など全国的な課題が多く、国や県から村に入る交付金は年々減少しています。このような時代を地方自治体としてどう立ち回すべきか——。当初予算編成における関根村長の考えを伺いました。

令和3年度は、村の将来を担う人材の育成に着手します。まずは、地域のリー

事業の見直しを徹底し 村民の幸せを実現する

国県の交付金の減額、そして今後村税を含む自主財源が少なくなる可能性があることなどから地方自治体はそれに見合った予算としていかなければなりません。

そのため、事業の見直しや目的を果たした財産の処分が肝心となります。とにかく入ってくるお金、出ていくお金の徹底した管理が必要です。

新しい事業計画においても、大きな予算を投じる事業は我慢し、まずは足元にある資源に磨きをかけるような取り組みを優先していきます。

小さな村であつても皆さんが幸せだと思えるような村づくりを第一に考えて政策を進めていきたいと思っています。

将来を担う「人材」に注力します



関根 政雄村長

足元の素材を活用する あるものに磨きをかける

ダーを育てる未来塾や若者・女性会議を創設するなどして、自由な発想で村づくりに参加する人材を育てていきます。

つぎに、私が就任時から打ち出している青少年の教育「ふるさとキャリア教育」の一環である小中一貫義務教育の実現に向けた骨格作りなど、具体的な準備を進めます。子どもたちには、さまざまな体験や鮫川村ならではの教育を通して、村民と一緒に生きて生き抜く力を養ってほしい。それが村を愛する郷土愛に結び付くと考えています。

3つ目は、移住定住促進の施策条件を拡大し、人口の村外流出に歯止めをかけたいと思います。

特に若い世代が村に残るためには、子育て支援を充実させるとともに、教育部門と連携して子どもたちが豊かに育つことができる環境を整えていく必要があります。

また、令和3年度には環境公社（仮名）の立ち上げも予定しています。村の環境保全と農業振興を目的に、まずは会社設立をして、将来的には村づくり会社に移行できるように育てていきたいと考えています。

先に挙げた人づくりに関して、膨大な予算を投じているわけはありませんが、お金をかけなくてもできることはあります。

令和3年度はそのスタートの年にしたいと思っています。

足元の素材は村づくりの大事な資源です。さまざまな人材資源、観光資源に磨きをかけ、キラリと光る村づくりを目指していきます。

お金をかけなくてもできることはある



運営形態を見直し、指定管理者を募集している宿泊交流施設ほっとはうす・さめがわ（葉貴）

大豆栽培をしてみませんか

大豆栽培者を募集しています

特産品である大豆の栽培

懸念される大豆不足

村は「豆で達者な村づくり」として、高齢者の健康と生きがいづくりを目的に平成16年から大豆栽培を奨励しています。

収穫した大豆は村で買い取り、手まめ館で味噌や豆腐に加工して販売するほか、村給食センターに提供され、子どもたちの学校給食にも使われています。

ここ数年、大豆の需要に対して生産量が追いついていない状態が続いています。（グラフ）

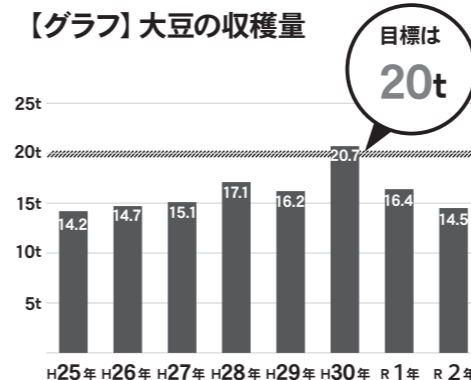
村の特産品として、これからも安定した作付けを継続し、子どもたちに安心・安全な食料を食べてもらいたい。

しかし、そのためには大豆の生産量を今以上に減らすことはできません。



収穫した大豆は学校給食に使われるなど、子どもたちの食育にもつながっています

【グラフ】大豆の収穫量



栽培者には多数の支援

村では、4月中にお申込みいただいた人に対して安価で大豆種子を販売するなど、高齢者に限らず、大豆栽培者に対してさまざまな支援を行っています。

この機会にぜひ、村の特産品づくりにご協力をお願いします。

支援の例 ▼栽培指導 ▼研修会の開催 ▼種子の安価販売 ▼収穫した大豆の全量買い取り（くずを含む） ▼たい肥散布支援など

関村農林商工課農政係
☎ 49-3113



Voice 前田 春江さん(官代)

うちは米農家ですが、お米と一緒に手まめ館で売られている豆菓子やきなこなどを知人に贈るとおいしいと言ってとても喜ばれます。昨年は村の公民館事業で手作りみそに挑戦しましたが、こちらもすごくよくできました。ゆずやふきのとうなど、季節物を加えたアレンジレシピで楽しんでいます。

地震災害に義援金を贈る

村赤十字奉仕団（高杉タカ子委員長）は3月4日、村長室を訪れ2月13日に発生した福島県沖を震源とする地震災害の義援金として3万円を贈りました。義援金は村分区を通じて日赤に贈られ、被災者に届けられます。



関根村長に義援金を渡す芳賀伊津子副委員長と赤坂京子会計

資源を活かした地域づくりを考える

村は「森林ワークショップ」と題して地域資源の掘り起こしと活用アイデアを集め、今後の村づくりのための検討を進めています。

ワークショップには第4次村振興計画の策定に携わった村づくり委員の10名が指名され、3月までに3回の会議が行われて意見を交わしました。村ではワークショップの結果をもとに森林施策の方針づくりなどを行います。

関村農林商工課林業畜産係
☎ 49-3113

当初予算

■会計別予算の状況

会計別	予算額	対前年度比	伸び率(%)
一般会計	26億8,900万円	△5億1,000万円	△15.9
特別会計	13億3,699万円	2,834万円	2.2
国民健康保険事業勘定	4億2,037万円	△313万円	△0.7
国民健康保険直診勘定	7,050万円	△90万円	△1.3
簡易水道事業	1億5,421万円	2,610万円	20.4
村営バス事業	1,110万円	210万円	23.3
集落排水事業	3,710万円	487万円	15.1
介護保険	5億392万円	1,709万円	3.5
交流施設	0万円	△1,760万円	△100.0
学校給食センター	1億35万円	1万円	0.0
後期高齢者医療	3,944万円	△20万円	△0.5
予算総額	40億2,599万円	△4億8,166万円	△10.7

■一般会計の状況

□目的別歳出予算

〔表1〕

区分	予算額	構成比(%)	対前年度比	伸び率(%)
民生費	5億5,359万円	20.6	72万円	0.1
総務費	4億191万円	14.9	△410万円	△1.0
農林水産業費	3億8,747万円	14.4	△611万円	△1.6
公債費	3億5,942万円	13.4	241万円	0.7
衛生費	3億77万円	11.2	△6,196万円	△17.1
教育費	2億8,358万円	10.6	△1億4,751万円	△34.2
土木費	1億3,236万円	4.9	△3,561万円	△21.2
消防費	1億2,274万円	4.6	△1,381万円	△10.1
商工費	8,612万円	3.2	△4,932万円	△36.4
その他	6,104万円	2.2	△1億9,471万円	△75.8
計	26億8,900万円	100.0	△5億1,000万円	△15.9

※その他=議会費、労働費、災害復旧費、予備費

□性質別歳出予算

〔表2〕

区分	予算額	構成比(%)	対前年度比	伸び率(%)
人件費	6億8,657万円	25.2	1,370万円	2.0
物件等	5億30万円	18.6	△815万円	△1.6
補助費等	4億5,499万円	16.9	△7,699万円	△14.5
公債費	3億5,942万円	13.4	241万円	0.7
繰出金	3億3,821万円	12.6	△435万円	△1.3
扶助費	2億600万円	7.7	2,488万円	13.7
普通建設事業費	9,426万円	3.5	△2億8,547万円	△75.2
維持補修費	1,838万円	0.7	425万円	30.1
その他	3,772万円	1.4	△1億8,028万円	△82.7
計	26億8,900万円	100.0	△5億1,000万円	△15.9

※その他=災害復旧費、積立金、貸付金、予備費

村民1人当たりに使われるお金は**846,396円**です。
(前年度比130,994円減)

民生費	174,250円 (5,333円増)	教育費	89,261円 (42,449円減)
総務費	126,505円 (2,458円増)	土木費	41,663円 (9,657円減)
農林水産業費	121,960円 (1,712円増)	消防費	38,634円 (3,088円減)
公債費	113,132円 (4,055円増)	商工費	27,109円 (14,272円減)
衛生費	94,671円 (16,155円減)	その他	19,213円 (42,847円減)

※一般会計のみ。R3.3.1現在の住基人口3,177人で計算

歳入は、「自主財源」と「依存財源」に分けられます。

自主財源は、村税をはじめ村が自主的に収入できるお金で、依存財源は国や県から交付されるお金や借金をいいます。自主財源が多いほど、村の運営は安定し、独自性を保つことができます。

今年度の歳入予算のうち自主財源は、村税や財産収入、使用料が前年度より減少したものの、基金を取り崩して財源を確保する繰入金などにより、前年度と比べ2億8,392万円減少しています。

依存財源では、地方交付税や国県支出金が減少したことなどにより、前年度と比べ2億2,609万円減少しています。

一般会計 総額 26億

歳出は、既存・新規事業の見直しなどを積極的に実施し、全般的な支出の抑制を図りました。

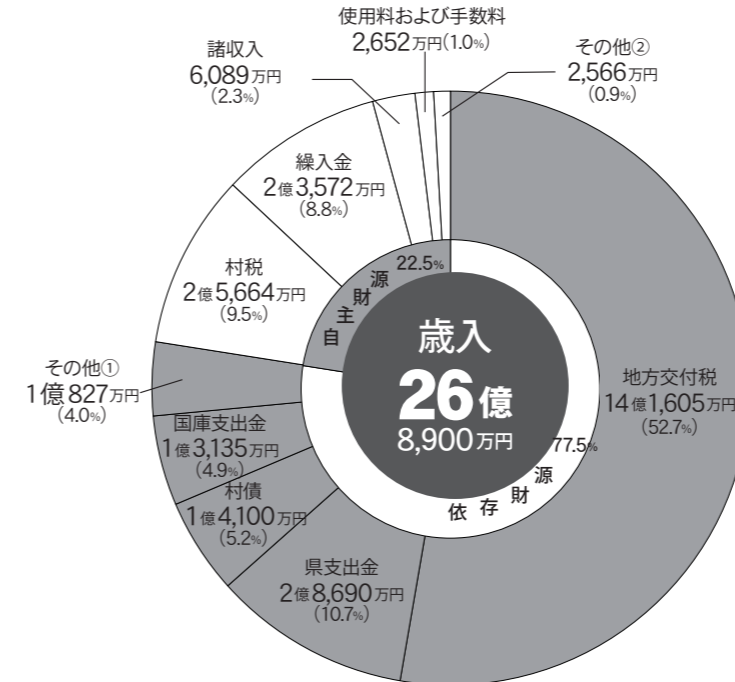
目的別でみると、教育費が大きく減少(34.2%減)しています。これは、青少年広場大規模改修事業が完了したことによるものです。東白衛生組合の廃棄物処分場が完成したため、衛生費も減少(17.1%減)しています。

このほか、一昨年(2021年)の台風19号災害の復旧事業に伴う予算は、令和2年度予算を繰り越していますので、令和3年度予算には計上されていません。〔表1参照〕

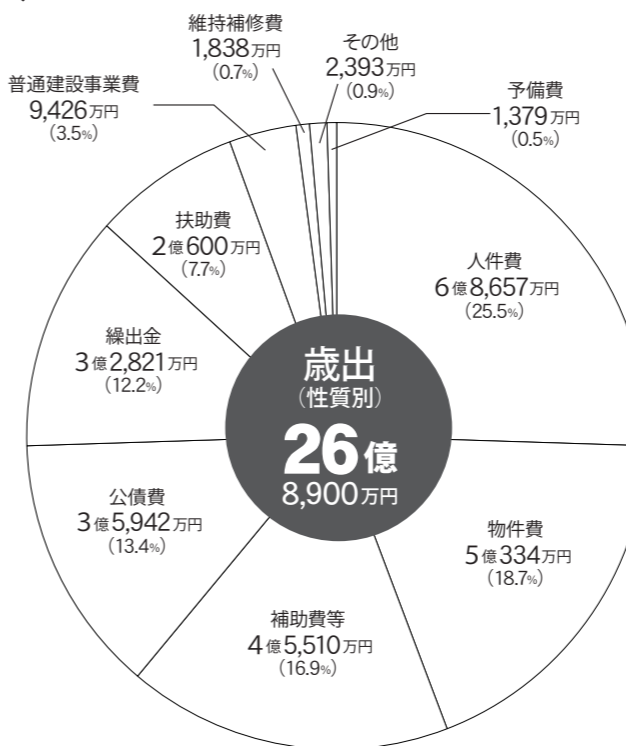
また、性質別でみると対前年比で最も増加したのは維持補修費(29.7%増)で、次いで扶助費(13.7%増)となりました。

〔表2参照〕

職員の給料や手当、社会保険料、議員や各種委員の報酬などに使うお金 ■ 普通建設事業費 ■ 道路や橋りょう、各種施設などの建設事業に使うお金 ■ 補助費 ■ 各種団体への補助金、村が加盟する団体などの負担金に使うお金 ■ 公債費 ■ 村債の元利償還に使うお金 ■ 繰出金 ■ 一般会計から特別会計へ繰り出すお金 ■ 扶助費 ■ 高齢者や障がい者などの支援、子どもや妊産婦の医療費などに使うお金



8,900万円 前年度比 15.9%減



〔用語解説・歳入関連〕
 ■ 自主財源 ■ 村税(村民税や固定資産税など)や使用料(保育料や住宅使用料など)、財産収入、寄附金など村が自分の手で確保できるお金 ■ 依存財源 ■ 地方交付税、国庫支出金、県支出金、地方債など国や県の基準に基づき交付されたり、割り当てられるお金 ■ 地方交付税 ■ すべての自治体が一水準で行政サービスを提供できるように国から配分されるお金。普通交付税と特別交付税の2つからなる ■ 繰入金 ■ 各種基金から繰り入れるお金 ■ 村債(地方債) ■ 道路改良、住宅建設、水道整備などの事業を行うために長期間借り入れるお金
 〔用語解説・歳出関連〕
 ■ 物件費 ■ 委託料や消耗品、備品の購入などに使うお金 ■ 人件費 ■ 職員や会計年度の

令和3年度の村づくりが始まりました。一般会計の当初予算は、令和2年度に比べ5億1,000万円(15.9%)減の26億8,900万円となりました。令和3年度は第4次村振興計画の7年目を迎え、基本構想の「つながりで支え輝く村づくり」の実現に向けて各種事業を行うとともに、東日本大震災からの復興を着実に進め、元気の出る村づくりを進めていきます。

人事異動

■異動（4月1日付）※（ ）内は旧役職

【課長職】——▶古館甚子議会事務局事務局長（住民福祉課長）▶鈴木隆寛住民福祉課長（議会事務局事務局長）▶舟木正博地域整備課長〔兼〕安全運転副管理者（地域整備課長補佐）

【課長補佐相当職】——▶鈴木千鶴子会計管理者〔兼〕出納室長（農林商工課長補佐〔兼〕振興公社準備室次長〔併〕農業委員会事務局長）▶小針富子さめがわこどもセンター園長（さめがわこどもセンター主任専門保育教諭〔兼〕副園長）▶鈴木庄悟住民福祉課長補佐（総務課総務係長〔併〕選挙管理委員会係長）▶長久保仁一地域整備課長補佐〔兼〕環境係長（地域整備課環境係長）▶我妻正紀農林商工課長補佐〔併〕農業委員会事務局長（農林商工課観光係長〔兼〕振興公社準備室係長〔兼〕交流施設係長）

【係長相当職】——▶生田昌信農林商工課商工観光係長（農林商工課林業畜産係主査）▶矢吹智広農林商工課農政係長（農林商工課農政係長〔兼〕林業畜産係長）▶矢吹清勝農林商工課林業畜産係長（地域整備課建設係長）▶水野亮達地域整備課建設係長（農林商工課農政係主査）▶緑川正和総務課総務係長〔併〕選挙管理委員会係長（農林商工課商工観光係主査）

【主査相当職】——▶須藤尚紀保健センター主査（住民福祉課福祉係主査）▶平田太良農林商工課農政係専門技師（農林商工課農政係主任技師）▶岡部和彦こどもセンター専門保育教諭（こどもセンター主任保育教諭）▶西野瑞宣総務課財政係主査（総務課財政係主任主事）▶坂本雄希地域整備課環境係主査（地域整備課環境係主任主事）▶宇佐見純平農業委員会主査（農林商工課農政係主任主事）▶西橋耕平住民福祉課福祉係主査（総務課企画情報係主任主事）▶須藤静香総務課総務係主査（総務課総務係主任主事）

【主任主事相当職】——▶菊地弘倫総務課企画情報係主任主事（総務課付）▶塩田寿弥福島県後期高齢者医療広域連合事務局派遣（農業委員会主任主事）▶阿久津翔総務課企画情報係主任主事（総務課企画情報係主事）

【主事相当職】——▶蛭田直人白河地方広域市町村圏組合事務局派遣（総務課税務係主事〔兼〕出納室主事）▶関根成人農林商工課農政係主事（保健センター主事）▶小池颯都農林商工課農政係主事〔兼〕林業畜産係主事（総務課企画情報係主事）

■退職（3月31日付）

▶鈴木守弘地域整備課長〔兼〕安全運転副管理者▶鈴木節子会計管理者〔兼〕出納室長▶生田目京子こどもセンター園長▶鈴木芳子住民福祉課長補佐▶生田目真由美こどもセンター専門保育教諭

■新採用（4月1日付）

▶長井美紅保健センター栄養士▶小松由希総務課税務係主事〔兼〕出納室主事

■再任用

▶生田目京子こどもセンター専門保育教諭

令和3年度畜犬登録および狂犬病予防注射を行います。狂犬病予防注射の集合注射は年1回の実施となりますので、忘れずに受けてください。

期日 4月21日（水）～23日（金）の3日間

※実施場所・時間などの詳細は文書でお知らせします。

対象 令和3年4月21日現在



事故防止のため犬を制御できる人が連れてきてください

で生後91日以上の犬
村地域整備課環境係
☎49-3114

犬の登録と狂犬病予防注射は飼い主の義務です 狂犬病予防注射は21日から

狂犬病の予防注射は毎年必要です

犬の飼い主のみなさま

犬の苦情やトラブルが増えています。ルールを守ってきちんと世話をしましょう。

■ 放し飼いはやめましょう

放し飼いは禁止行為です。「夜鳴きしてうるさい」「散歩にいけないから」は理由になりません。飼い主は犬が人にけがをさせないように注意する義務があります。

■ 犬のフンは持ち帰りましょう

犬の散歩には袋とシャベルを持ち、犬のフンは必ず持ち帰りましょう。



消火活動に貢献！ 猟友会に感謝状



小林薫棚倉消防署長から感謝状を受ける湯坐分会長

村と村消防団、棚倉消防署は3月19日、県猟友会東白川支部鮫川分会（湯坐好郎会長）に感謝状を贈りました。同会は2月28日に赤坂西野字浅屋敷で発生した倉庫火災で初期消火に貢献。湯坐分会長は「今後も地域のために協力したい」と話しました。

お金の使いみち

村は「つながりで支え輝く村づくり」の実現のために、6つの将来像（分野別目標）を定めて事業に取り組んでいます。それぞれの主なお金の使いみちは次のとおりです。

<p>1 きれいで安全なふるさと鮫川 (生活環境分野)</p> <p>消防団交通安全パレード</p> <ul style="list-style-type: none"> ○東白衛生組合・斎苑運営費 7,764万円 ○広域常備消防運営費 7,803万円 ○消防団活動事業 1,803万円 	<p>2 健やかで安心なふるさと鮫川 (保健・医療・福祉分野)</p> <p>こどもセンター園庭遊び</p> <ul style="list-style-type: none"> ○こどもセンター保育部運営費 8,683万円 ○住民健康診査・がん健診事業 1,346万円 ○児童手当給付事業 3,983万円 	<p>3 活力と交流に満ちたふるさと鮫川 (産業分野)</p> <p>中山間の草刈りの様子（落合）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○中山間地域等直接支払制度事業 9,029万円 ○ふくしま森林再生事業 7,850万円 ○商工業振興事業 2,167万円
<p>4 人と文化が輝くふるさと鮫川 (教育・文化分野)</p> <p>稲刈り体験（鮫川小）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○小・中学校教育活動費 5,353万円 ○こどもセンター幼稚部運営費 4,549万円 ○スクールバス運行事業 1,056万円 	<p>5 生活基盤が整ったふるさと鮫川 (生活基盤分野)</p> <p>残り4区画となった西野団地</p> <ul style="list-style-type: none"> ○道路改良事業費 3,364万円 ○公共交通振興事業 3,268万円 ○道路環境美化事業 1,174万円 	<p>6 ともにつくるふるさと鮫川 (協働・行財政分野)</p> <p>第4次振興計画後期基本計画策定委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○行政区振興事業 1,477万円 ○議会活動費 3,549万円 ○地域リーダー・若者会議事業 114万円



学年を越えて協力し、立派なベンチを作ることができました。このほか木製のペン立ても作りました

協力して木製ベンチを作成

チャレンジスクール木工教室を開催しました

村教育委員会が主催するチャレンジスクールは2月27日、村公民館を会場にして木工教室を開催しました。参加した14人の小学生は、講師の三瓶稔さんと協力しながら木材のホゾ(穴)を組み合わせて木づちで打ち、インパクトを使ってねじ止めするなど、本格的な木製ベンチの制作に挑戦しました。本事業は、県の森林環境交付税を活用したもので、出来上がったベンチは舘山公園と青少年広場に設置されます。お立ち寄りの際はぜひご覧ください。

万が一に備えて訓練に臨む

春季火災防御訓練を実施

火災防御訓練は、全国春季火災予防運動期間中の3月7日、渡瀬字田苗地下内で行われ、棚倉消防署鮫川分署、村消防団など約70人が参加しました。119番通報から始まり、関係機関の連携、命令伝達および情報収集、中継送水・放水などの一連の訓練が繰り広げられ、参加した消防団員たちは、万が一に備えて機敏な動作で訓練に臨んでいました。その後、地域住民を対象に消火器の取扱訓練も実施されました。



通報を受けてから放水まで迅速に対応する消防団員



新酒の出来を喜ぶ高野組合長(中央)と醸造元大谷忠吉本店の大谷浩男代表(右)

幻の米「農林21号」を守り伝える

鮫川21新酒お披露目会

原酒純米吟醸「鮫川21」のお披露目会は3月16日、おしゃべりキッチンで行われました。西山成苗組合の高野博光組合長は「村の活性化に寄与し、今後も皆さんに喜んでもらえる酒を作りたい」と意欲を示しました。お酒造りは今年で25周年を迎えます。鮫川21は、同組合が無農薬無化学肥料にこだわって幻の米「農林21号」を栽培し、大谷忠吉本店(白河市)が仕込みました。4月14日から大谷忠吉本店で限定販売される予定です。

目標だった自衛隊員になる道

自衛隊入隊者激励会

自衛隊入隊者激励会が3月19日、村長室で行われました。今回、自衛隊に入隊するのは北條佑奈さん(岫長・朝霞駐屯地)、佐川一樹さん(内ヶ竜・多賀駐屯地)の2人。関根村長から「いろいろな苦労があると思いますが、自分で選んだ道を頑張って歩いてください。そして立派になっていずれば村に戻ってきてくださいね」と激励の言葉が贈られ、村などから2人に激励の品が贈られました。



「厳しい訓練も頑張って乗り越えます」と笑顔で答える北條さん(左)と佐川さん(右)



たくさん保護者に見守られながら堂々と歩く児童たち(鮫川小)

学び舎を巣立つ

鮫川小中学校で卒業証書授与式

卒業証書授与式は中学校(相馬慶二校長)が3月12日、小学校(齋藤雅彦校長)が同日23日に行われました。中学校では相馬校長が19人の卒業生一人ひとりに卒業証書を手渡し「人との関わりを大切に、人を助け、人に助けられて一人前になってください」と式辞を述べました。

小学校では31人の卒業生がお世話になった先生たちとの別れを惜しみつつ、思い出深い学び舎を巣立ちました。



答辞を述べる藤田友稀さん(鮫川中)

感謝の気持ちを胸に旅立つ

県立修明高校鮫川校卒業証書授与式

県立修明鮫川校の卒業証書授与式は3月1日、同校体育館で行われ、20人が学び舎を巣立ちました。式では、郷清隆校長が「諦めなければ人生に失敗はありません。いつでもどこでも希望と目標を持って頑張ってください」と卒業生を激励しました。続いて、関根村長や中川西賢一PTA会長から祝辞を贈られると卒業生を代表して中川西拓弥さんが3年間の高校生活を振り返るとともに、先生、在校生や家族に感謝の気持ちを伝えました。



郷校長から卒業生に卒業証書が手渡されました

こんなにおおきくなりました

こどもセンター卒園式

こどもセンター卒園式は3月19日に行われました。生田目京子園長が卒園児21人に「がんばる強い気持ち、やさしい気持ちを忘れずすてきな1年生になってください」とあいさつを贈りました。新型コロナウイルス感染症対策のため、例年のお別れのことばやダンス、歌を披露する代わりにそれらを取めた動画を上映しました。保護者たちは目を潤ませ、子どもたちの成長を実感していました。



生田目園長先生から一人ひとりに卒園証書が贈られました

Book

図書館の缶詰

図書館からおすすめの本をご紹介
 鮫川村図書館 ☎ 29-1150

藤井弁当 お弁当はワンパターンでいい!

藤井恵著、学研プラス



使うのは玉子焼き器一つ! おかずは3品、主な食材は3つだけ! 15年間作り続けた著者が、毎日ムリなく作り続けるためのシンプルなおかずの考え方、忙しい朝に段取りよく作るためのコツとレシピを紹介しています。

ハウズリー 人間関係境界線の 上手な引き方

おのころ心平著、同文館出版



自分と相手の境界線があいまいだと、心地よい関係は築けません。表情・しぐさ・言葉遣いをほんの少し変えて「自分の領域」を守りましょう。抑圧されず、孤立もしない快適でベストな人間関係のつくり方をカウンセラーの著者が提案しています。



第3土曜日は
家族一緒に読書の日
←新着図書はコチラ

鮫川職場探訪記 - 第45回 - せいたいの森

代表・森 隆之 / 住所・大字赤坂東野字楯久保26-1 / ☎080-9259-1043



高齢の方ならなおさら移動の危険もありますから、みなさんの自宅でする今のやり方にしました。自宅なら施術後の気持ちいい気分のままお休みにもなれるので好評ですね」と話します。もちろん森さん宅に行き施術を受けることも可能です。

「疲れの緩和や中高生のケガの予防に役立ちたい」という森さん。地域に根差した整体屋さんとして頑張っています。

自宅で受けられる整体

せいたいの森は平成27年に開業した出張型の整体で、村内なら電話予約でどこでも本格的なマッサージを受けられます。森さんが行うソフト整体は気分がリラックスできるだけでなく、血流を良くするなどして体全体の調子を整える効果に期待できます。

森さんは開業するにあたり、店舗を持たない道を選びました。「鮫川のような山の中でわざわざお店に来てもらうのは大変です。



持ち運びできるベッドの上で施術します



押す、突く、回すなどさまざまな指圧で体のコリを優しくほぐします

私は長年子どもセンターに勤めておりましたが、昨年還暦を迎え、この春満期定年となりました。大過なく勤め上げることができましたのも皆さまのおかげと、この場を借りて感謝申し上げます。
 子どもたちといると、とにかく楽しいことや嬉しいことがたくさんありました(同じくらい大変なこともありました)。
 つたい歩きだった子が1人で1歩を踏み出す、紙パンツを濡らさずにトイレでおしっこする、嫌いなものを目をつぶりながら頑張つて食べようとするなど、その成長過程がとっても嬉しいし、楽しいのです。
 「先生は大きくなったらどんな仕事をしたいか」といわれると、とにかく楽しいことや嬉しいことがたくさんありました(同じくらい大変なこともありました)。

村民【随想】リレー — (27)

生田目 京子さん 子どもたちと過ごした日々

事をするの」の質問に苦笑いしたこともありました。「先生は遊んでばかりでいいね、うちのママは忙しいんだよ」と言ってみたり、子どもたちはわかっていようわからぬ、わからないようでわかってい、だから一緒にいると楽しいのです。
 笑う門には福来たる、とか笑うことで健康寿命が延びるとか言われています。私も今しばらく、子どもたちと笑いあいながら楽しい日々を送っていききたいなと思っています。
 次号は、湯坐達雄さん(新宿)にバトンタッチ!



なまため・きょうこ ● 1960年10月生まれ。趣味はスポーツ観戦。モットーは、広く浅く(必要に応じて深く)。どんなことでも前向きに取り組んでいます。西山字辺栗。60歳。

俳句

雪なしし信夫山の寒雀

中井 恒峯

冬場でも葉物食せる小ハウス

北條素人坂

春の午後明治の土蔵崩れ落つ

松本 精一

海龍月命日の手漕ぎ舟

渡辺 家造

軽トラの肥料山積み春浅し

山本 恵子

はや一年歌もうたえず春に向く

鈴木 米子

館山のとっぺん啄木鳥のドラミング

斎須 信子

父母祖父母見送るピカピカランドセル

山本五十鈴

短歌

日溜りで「笑顔のたね」に出会いた
り春寒に咲く大犬のふぐり

鈴木イミ子

湿りもつ土黒ぐると起されて田圃は
陽をため耕作を待つ

須藤 幸子

幾度も愛犬育て共に生きよるこび
分かつ日々の生活

前田喜三子

寒風にさらして冬を干し上げし凍
み大根は甘き香りす

関根キヌ子

久々に友の声聞き思ひ出す休業時代
の喫茶店通い

赤坂 和子

寒九の雨根雪を解かし露のとう摘め
ば春の香指先までも

矢吹 一二

広報さめがわではみなさんの俳句・川柳・短歌などの作品を募集しています。掲載の相談は村総務課広報担当まで。
 ☎ 49-3111
 村総務課

鮫川村役場

(代表・総務課) ☎ 0247-49-3111

FAX 0247-49-2651

災害時対応電話(停電・災害時)
☎ 49-3302・☎ 49-3303

■開庁時間 平日 8時30分～17時15分

住民票や所得証明書などをお求め、業務時間内の来庁が難しい人は、事前に電話をいただければ時間外でも対応が可能です。土日祝日の交付はできませんのでご了承ください。

■鮫川村公式ホームページ

<https://www.vill.samegawa.fukushima.jp/>

■その他のお知らせ

令和3年4月から近隣町村の実情に合わせて村長交際費を見直し、弔慰(香典)の支出を控えさせていただきます。ご理解の程よろしくお願ひします。

■今月の納税 納期限: 4月30日(金)

・軽自動車税

■ふるさと納税・寄付 [2月受理分]

※村社会福祉協議会への寄付は除く

・ふるさと納税…18件



ふるさと納税サイトはこちらのQRコードからご確認ください↑

無料で参加できます けん引操作研修会

県農業総合センター農業短期大学校(矢吹町)では各種農業研修会を開催しています。「安全運転技術総合コース」では、けん引免許(農耕車限定)取得に向けた安全操作を研修します。

対象 農業に従事する人ですでに大型特殊免許(農耕車限定以上)を取得している人

費用 無料(事前に傷害保険にご加入ください)

申込期間 4月1日(木)～4月14日(水)

その他 本校では免許の取得はできません。研修日程や申込方法など詳細はお問い合わせください。

☎ 県農業総合センター農業短期大学校研修部
☎ 0248-42-4114

確定申告・納付期限が 4月15日に延長されています

令和2年分の所得税および復興特別所得税・贈与税、個人事業者の消費税および地方消費税の納付期限は**4月15日(木)**です。忘れずに納めましょう。

なお、振替納税を利用した場合の振替日は、所得税および復興特別所得税が5月31日(月)。消費税および地方消費税(個人)が5月24日(月)です。

申告書作成会場 白河市産業プラザ人材育成センター1階研修室

時間 9時～16時 ※土日、祝日除く

その他 会場の入場には「入場整理券」が必要です。詳しくはお問い合わせください。

☎ 白河税務署 ☎ 0248-22-7111 (代表)
(音声案内で「2」番を選択してください。)

国民年金保険料の納付を猶予 「学生納付特例制度」

20歳以上60歳未満の人は、国民年金への加入が法律で義務付けられています。

勤務先を退職(失業)したときは、国民年金の加入手続きが必要*です。手続きは、年金手帳など基礎年金番号がわかる書類を持参して村住民福祉課住民係でおこなってください。

本年度の国民年金保険料額は16,610円(月額)です。経済的な理由などで保険料を納付することが難しい場合は、保険料免除制度などもありますので、ご相談ください。

*厚生年金の加入者に扶養されている人は、配偶者の勤務先で加入手続きが必要です。

☎ 村住民福祉課住民係 ☎ 49-3112/ねんきんダイヤル0570-05-1165/白河年金事務所 ☎ 0248-27-4161

献血にご協力ください

実施日 4月19日(月)

場所・時間 ▶鮫川器機(株)…10時～12時

▶役場前駐車場…13時45分～17時

注意 65歳以上の人は60～64歳の間に献血経験がある人に限ります。

■献血対象者など

献血区分	200ミリリットル	400ミリリットル
体重	男性45kg以上 女性40kg以上	男女とも 50kg以上
年齢	男女とも 16歳～69歳	男性17歳～69歳 女性18歳～69歳
血圧	最高血圧 90mmHg以上、180mmHg未満 最低血圧 50mmHg以上、110mmHg未満	
脈拍	安静時脈拍が40～100	
体温	37.5℃以上の発熱をしていない	
献血の間隔	男女とも 4週間後	男性12週間後 女性16週間後

※200ミリリットルは高校生のみ

骨髄バンクドナー登録会も併せて実施

登録できる人 ▶18歳～54歳までの健康な人

▶骨髄提供内容を十分に理解している人▶体重が男性45kg、女性41kg以上の人▶家族の同意が得られる人

骨髄などの提供者には奨励金を交付します

村は、公益財団法人日本骨髄バンクが実施する骨髄バンク事業において、骨髄・末梢血幹細胞を提供した人に奨励金を交付しています。

対象 次のすべてを満たす人▶提供した日に村内に住所がある人▶骨髄・末梢血幹細胞の提供を完了したことを証明する書類の交付を受けた人▶他の公共団体から奨励金に相当する補助金などの交付を受けていない人

奨励金 提供に係る通院・入院1日につき2万円。※最大14万円。

申込み 提供が完了した日から90日以内に必要書類を添えて村保健センターに提出してください。

☎ 村保健センター ☎ 29-1231

ラーメンが食べられる温泉宿 4月14日にオープンします



「結び」という店名には「人と人の縁を大事にしたい」という思いが込められています

村が昨年、経営者を募集した湯の田温泉の旅館がよいよオープンします。名前は「結び」に決定しました。当面は飲食店のみの営業を行い、夏を目処に宿泊客の受け入れを始める予定です。ぜひご利用ください。

オープン 4月14日(水)

営業時間 昼は11時～、夜は17時～

定休日 月曜日

メニュー 昼はラーメンや定食など。夜は本格中華料理や宴会料理を提供します。

席数 テーブル・カウンター20席、座敷(宴会場)20～30席

その他 オープン後は混雑が予想されます。それぞれ感染症予防策を実施してご来店ください。お弁当やオードブル、テイクアウトなども対応可能です。

☎ お食事処温泉旅館 結び ☎ 57-8677

鮫川村は人が温かくて良いですね。皆さんが気軽に立ち寄れる、明るくて楽しいお店を目指しています。地元食材をふんだんに使った料理を準備してお待ちしていますので、ぜひお越しください。
(店長・野崎)

暮らしのカレンダー

4/1	木	
2	金	
3	土	
4	日	第1日曜日は環境美化の日 ⑤東館診療所 ☎46-2312
5	月	
6	火	入学式(小・中学校) 第1学期始業式(小・中学校)
7	水	
8	木	入園式[こ]
9	金	
10	土	
11	日	⑤和田医院 ☎33-2012
12	月	3か月児健診
13	火	
14	水	
15	木	
16	金	
17	土	
18	日	⑤大木医院 ☎33-2424
19	月	献血 筋力づくり教室Aコース[保]
20	火	心配ごと相談[公]
21	水	筋力づくり教室Bコース[保]
22	木	7か月児健診・10か月児健診
23	金	筋力づくり教室Cコース[保]
24	土	
25	日	⑤深谷クリニック ☎33-3223 春季一斉清掃
26	月	筋力づくり教室Dコース[保]
27	火	筋力づくり教室Eコース[保]
28	水	やまぶきの会[保]
29	木	⑤車田病院 ☎43-1019
30	金	
5/1	土	
2	日	⑤おおひら整形外科 ☎33-9468
3	月	⑤塙厚生病院 ☎43-1145

戸籍の窓 ※2月届け出分・敬称略

お誕生 お誕生はありませんでした

住所	氏名	月日	年齢
広畑	高坂 昭	1.30	94歳
二反田	松本 壽郎	2.2	78歳
中内	水野 幸子	2.10	77歳
辺栗	生田目ヨシ	2.10	89歳
水口	大平ミツイ	2.26	96歳

おくやみ

人口	3,177人 (-15)
男	1,611人 (-7)
女	1,566人 (-8)
世帯	1,072戸 (-1)

人の動き
3/1現在 ()は前月比

診療所送迎車運行日 ※予約は前日まで

曜日	月	火	水	木	金
地区	村内全域	赤坂西野 西山	赤坂中野 東石	青生野	富田 渡瀬

⑤村国保診療所 ☎49-2028

NOTE

毎月8日は歯の日です
防災無線で虫歯予防を呼びかけます



4月の担当は——
学校給食センター
栄養技師
菊池夏美さん

やまゆり乳児室・保育室 [こ]

筋力づくり教室 [保]

あおぞら号昼バス運行日

みなさん 村民との対話の日

村づくりや地域づくりは、まずは対話と懇談から…。
村民の皆さまのご意見、ご要望を村長がお聞きいたします。

次回(第18回)対話の日
日時 4月22日(木)
13時30分～18時30分
場所 「村民ホール」(正面玄関を右側)

東日本大震災発生から10年が経過いたしました。「災害は忘れたころにやってくる」との格言がありますが、2月、3月は二度にわたり地震が発生いたしました。引き続き危機感を強め「自分の身は自分で守る」ことを心がけ、緊急災害発生に対応できる備えをお願いします。

春は「別れと出会い」の季節です。村からも大勢の若者が「新しい社会」に出発します。村民の皆さまの温かいエールをお願いします。

岡松政雄

■ 前回いただいたご意見とご要望 令和3年2月22日(月)

種別	ご意見とご要望・ご提言	対応
健康増進	・コロナ対応にてレクダンスの練習を中止していたが、3月より開始したい。引き続き保健センターの借用をお願いしたい。	▶健康増進の活動につき、引き続き使用できるようにした
農業振興	・畜産クラスターを立ち上げ畜産振興を図っていただきたい。 ・WC S対応の農業機械が劣化している。対応策はあるか。 ・農業担い手育成、独身者の結婚対策を願いたい。 ・戸草地内の災害で崩落した橋を復旧願いたい。	▶畜産農家、JA、行政とで協議を進める。 ▶国県補助金との情報収集に努める。 ▶若者交流の場を設けたい。 ▶復旧に向けて善処したい。
落石防止	・官代入り口村道法面の落石防止策を願いたい。 ・石井草地内の法面の落石防止策を願いたい。	▶担当課と協議し、新年度に取り組む
環境保全	・村シルバー人材センターの運営と事務局長設置費の支援を願う。	▶担当課と継続協議し、書面にて回答する

※ 村民のみなさまからのご意見ご要望は今後の村づくりに反映できるように、今後も協議と検討を重ねてまいります。

第40回 修明高校鮫川校だより
ここに鮫川の山峡に
—創立73年の歴史—

昭和23年に創立された鮫川校は、福島県教育委員会の県立高校改革前期実施計画により、令和2年度に募集停止となり、今年度末に73年の歴史に幕を下ろします。

鮫川校最後の1年となる今年度は、紙面をお借りして、鮫川校の歴史を振り返っていききたいと思います。思い出の写真を掲載してまいりますので、当時の懐かしいお話をお聞かせいただけたら幸いです。



【昭和52年頃の校舎】

■ 鮫川校の最後の1年を迎えるにあたり、タイトル「ここから、いっしょに」を改め「ここ鮫川の山峡に」としました。これは、初代分校長の石田卯子八様(鮫川村名誉村民)が作詞された校歌の一節です。最後まで鮫川校をよろしく願っています。(修明高校鮫川校分校長・佐藤)

文・写真/修明高校鮫川校
TEL 49-2029 FAX 49-3109
E-mail shumei-h-samegawa@fcs.ed.jp